【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成23年9月1日(2011.9.1)

【公開番号】特開2009-277634(P2009-277634A)
【公開日】平成21年11月26日(2009.11.26)
【年通号数】公開・登録公報2009-047
【出願番号】特願2008-154619(P2008-154619)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｍ　2/36　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｍ　2/36　１０１

【手続補正書】
【提出日】平成23年3月30日(2011.3.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
外パイプ６の間に、入っている上下に移動、又はスライドして任意の位置で固定出来るリング４は、緩めにして、リング４の側面に螺子を付けて、寸法（間隔）を決めたら、螺子を締めて、固定するのもよいし、外パイプ６の必要部分に、オス螺子をつけ、リングの内側に、メス螺子をつけて、例えば、ボルトとナットの様にして、リングを回転させて、電極とリングの下面５の間を、合わせるのもよい。又、リングは丸い物に限らず三角形、四角形、多角形でもよく、その他リングに限らず、例えば、クリップの様な部品をパイプに挟み込み、電極との間隔を合わせて、固定するのもよい。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
図面３に示す様に、パイプの下側部分にセンサーとしての電極を設けパイプの上側部分に上下に移動し任意の位置で、固定出来るリング等の部品を付け、電極とリング等の部品の距離（間隔）で、液体の注入量（規定量）を決め、液面を知らせられる様に造られた、パイプと電極とリング等の部品を組み合わせた構造の液体補充器具